

新型コロナウイルス対応における進歩に関する特別措置（再継続案） ～期間に関する抜粋～

2022年10月04日 現在
ボーイスカウト日本連盟

1. 特別措置の趣旨（目的とねらい）

スカウト活動や進歩に対する意欲の低下を防ぎ、進歩の歩みを止めないことを目的として、2020（令和2）年5月24日に「進歩に関する特別措置」を施行しました。今までとは違った視点でスカウティングの面白さに気づき、野外で活動したいという気持ちを育てることをねらいとして活動してきたが、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、2021年度についても申請期間の延長を1年に変更して2021年5月20日に特別措置を継続しました。

ベンチャー隊へ上進後、活動自粛等の影響を受けた2022年度に18歳となる年代に対しても、昨年度同様に1年間の特別措置を講じます。

＜特別措置のポイント＞ ※昨年度から変更無し

- ・ 申請期間の延長：「1年」
- ・ 富士・単独キャンプ：「実施と報告の約束」→「計画書と報告のみでも可」に変更
- ・ 富士・奉仕：「地域、他団体の行事の奉仕」および「地域の課題解決への取り組み」を追加
- ・ 富士・個人プロジェクト：「実施と報告の約束」→「計画書と報告のみでも可」に変更

2. 課程・進級取得可能期間に対する特別措置（V S部門について再継続）

- ・ **BVS部門**：特になし。学年が上がると同時にビックビーバーとなる。
- ・ **CS部門**：活動自粛期間に合わせ、次の課程に上がった以降も一定の期間を定め、次の課程と並行して修得課目に挑戦できる。（一定の期間は、隊や地域状況に合わせ、隊長の判断とする）
- ・ **BS部門**：月の輪について、CS隊で全てを履修できずとも、BS隊と協力のうえ、隊や班の活動において、残りの履修に取り組むことができる。
- ・ **VS部門**：2022年度時点で高校3年生に相当する年齢のスカウトに対しては、富士スカウト章の日本連盟への申請期限を2023年3月31日から1年延長する。現高校2年生に相当する年齢以下のスカウトについては、これまでの活動の制限を勘案して、次年度以降申請期間の延長を検討する。

	2020年度												2021年度												2022年度												2023年度											
	4	5	6	7	8	9	#	#	#	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
緊急事態宣言	第1回 4/7-5/25				第2回 1/8-3/21				第3回 4/25-6/20				第4回 7/12-9/30																																			
2020年度に18歳となったスカウト（一昨年度）													スカウト認証手続き																																			
2021年度に18歳となったスカウト（昨年度）													年度内での認証手続き: 3/31まで												スカウト認証手続き(申請期間を延長) ⇒延長期間にて進歩進級に挑戦																							
2022年度に18歳となるスカウト（今年度）																									年度内での認証手続き: 3/31まで												スカウト認証手続き(申請期間を延長) ⇒延長期間にて進歩進級に挑戦											
																									延長届												延長届											

以上

【参考：富士スカウト進級状況】

	V S人数	延長申請	富士取得者/率	内延長適用	実質取得者/率
2018年度	6,810人		150人(2.20%)		
2019年度	6,303人		154人(2.44%)		
2020年度	5,962人	93人	56人(0.94%)		133人(2.23%)
2021年度	5,885人	74人	120人	77人	
2022年度			26人	8人	

※2020年度に取得するスカウトで、特別措置を申請して2021年度に取得したスカウトを含めるとコロナ禍前の取得率に準じた人数となる。